

SP C710 系トナー非純正表示の出る理由

SP C710 系トナーはセット時にトナーの流動性が高過ぎたり、低過ぎたりすると「非純正トナー」(機種によってはカタカナで表示)されます。これらの表示が一度発生するとトナーに付いているチップに情報が書き込まれてトナーを交換するまで表示が消えません。

但し、非純正表示が出ても印字に支障が出る事はなくトナーエンド表示も出力され最後まで使い切る事が可能です。

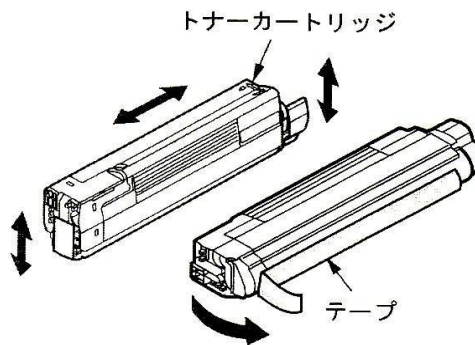
防止法

前述した通り一度「非純正」の情報がトナーチップに書き込まれますと、チップを交換もしくはトナーを交換しない限り表示の改善をする事が出来ません。発生してしまったお客様には次回以降トナーを入れる前に下記のご案内をして頂くよう宜しくお願いします。

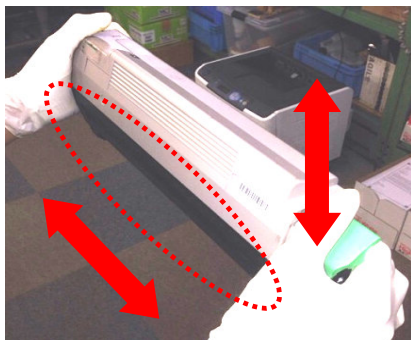
- ① カートリッジのテープを剥がす前に上下左右に振るようして下さい。



振った後は水平にしてテープを剥がします。
(※純正トナー説明書より抜粋)



- ② トナーをドラムに装着後、ドラムごと取り出してトナーがドラムに落ちるように振って下さい。



C810 系も同様にセット前は左右上下に振ります。

非純正表示を防ぐには商品同梱の取り扱い説明書をご覧ください。

チップ不良・破損とは症状が異なります。

チップ不良・破損の不具合と混同される場合がありますが、チップ不良・破損の場合はプリンタにトナーを入れた時点でキャリブレーションもされず動作ストップしてしまいます。

チップ不良・破損の場合

- セット後キャリブレーション動作を行わない(何の反応もない)。
- トナーを認識せず「トナー交換」表示が消えない。
- トナーエンドと変わらない状況なので印刷が出来ない。

**申し訳ございません。
すぐに交換させていただきます。**

非純正表示の場合

- トナーセット後、キャリブレーション動作を行う。
- トナーは認識されて通常印刷も可能。
- ステータスシートでトナー残量表示に異常が出る。エンドの際には通常と同様にエンド表示が出る。

**すぐに交換させていただきます。
次回以降セット前の動作にご協力下さい**